

トナカイの革 - ユーザーガイド

メーカー: _____ 連絡先: _____

トナカイの革は、フィンランドの伝統的な空気乾燥法を用いて屋外で乾燥させたものです。トナカイの革を乾燥させたものは、他にはない天然素材です。

なめし加工を施し、工業的に製造された**トナカイの革は**、店頭で最も多く販売されています。トナカイの革は、そのままではすぐに傷んでしまうので、なめすことで経年劣化に耐えることができます。また、革を柔らかくする効果もあります。

屋外用加工トナカイ革は、加工トナカイ革と同様の処理を施した上で、さらに特殊な処理を加えています。革はなめし革工場やトナカイの持ち主が処理することができます。

使用目的

トナカイの革は、そり遊びやアイスフィッシング、キャンプファイヤーやパティオでのくつろぎのひとときなど、屋外での使用に適しています。シートやスリーピングパッドとして最適です。乾燥すると、革の表面に水に対する抵抗力が生まれ、雪のような湿った場所に敷くことができるようになります。

トナカイの革は耐湿性に劣るため、乾燥した環境下での屋外使用にのみ適しています。装飾品やインテリアとして使用するのが最適です。乾燥にさえ気をつければ、屋外でクッションとして使うことも可能です。

屋外で使用するために加工された革は、上記のようなあらゆる用途に適しています。この革は水に強く、すぐに乾くのが特徴です。24 時間テストしたところ、革は水分を吸収しませんでした。革の面は 5 時間で完全に乾き、毛革の面は乾いたままでした。

形状・サイズ

トナカイの飼育では、年間約 8 万枚の革が生産され、そのうちの 7 割は子トナカイの革です。革の大きさは、その年の生育状況やトナカイの生年月日によって異なります。革の販売者が大きさで分類している場合もあります。革の形状は、革の剥ぎ方や、すねを含むか否かによって異なります。

取り扱い

トナカイ革製品には常に少量の毛があります。トナカイの毛は中空なので、保温性が非常に高いのです。また、この品質が毛をもろくしています。そのため、革は乱暴に扱わない方がよいです。

保管

革が呼吸できるように、丸めたり袋に入れたりせず、広々と保管することをお勧めします。風乾した革は、常温で保存してはいけません。保管場所が暖かすぎると余計に乾燥します。乾燥した革は、清潔で広々とした屋外に保管し、害虫が侵入しないようにするのが最適です。毛虫などの害虫は、殺虫剤だけでなく、エッセンシャルハーブや強い香りの植物、植物成分（マーシュティー、ローリエ、オレンジスキンなど）でも撃退することが可能です。

革が濡れた場合は、確実に乾燥させる必要があります。革の面を上にして、完全に乾燥させてください。可能であれば、革は吊るして乾燥させてください。十分に乾燥させないと、革が吸収した水分によって雑菌が繁殖し、良い状態を保つことができません。また、加工した革は、濡れた場合は乾燥させる必要があります。

空気乾燥革の劣化

ご家庭での保管や乾燥がうまくいかないと、すぐに革の劣化が始まってしまいます。革が劣化すると、毛根が分解され、毛が抜け始めます。革の劣化を確認する方法のひとつに、匂いがあります。革はもともとトナカイの匂いがしますが、刺激臭やカビ臭がする場合は微生物の繁殖を示します。時間が経つと革の内側が黒くなる場合がありますが、すぐに色が黒くなる（カビが生える）場合は、湿気が多すぎる状態で保管されていたことが考えられます。また、劣化した革はハエなどの虫を呼び寄せます。

手入れ

革に液体をこぼした場合は、丁寧に拭き取ってください。革は、椅子張り用のノズルを使って丁寧に掃除機で掃除できます。また、丁寧なブラッシングも適した洗浄方法です。また、雪で革の汚れを落とすこともできます。必要に応じて、自然乾燥した革の表面を中性洗剤で軽く拭いてください。

返品権

返品権は、消費者保護法（38/1978）により定められています。販売者から返品期間が付与されていない限り、店頭で購入した欠陥がない革を返品する権利はありません。オンライン小売と訪問

販売には、2週間の返品権が含まれます。なお、返品に伴う費用はお客様のご負担となります。詳しい説明が必要な場合は、出品者にお尋ねください。

輸出

トナカイはワシントン条約で絶滅危惧種に指定されていません。フィンランドからトナカイの革を輸出する場合、許可は必要ありません。輸入に許可が必要かどうかは、輸出先の当局にご確認ください。必要であれば、フィンランド当局は、トナカイがワシントン条約対象種でないことを示す非公式な証明書を提供することができます。フィンランドでは、ワシントン条約の許可に関する事項は、フィンランド環境研究所（SYKE）が担当しています。

廃棄

革の寿命が尽きた後は、可燃ごみとして、ごみ箱に捨て、処理できます。革を自然乾燥させれば、伝統的なシズナレザーの原料として使用できます。シズナの作り方は、フィンランドの教育機関や民間の高校で入手できます。

このガイドは、ラップランド応用科学大学とトナカイ飼育者協会が2021年から2022年にかけて実施した *Taljat rahaksi (Hides into money)* プロジェクトの一環として書かれたものです。このプロジェクトは、欧州農村開発基金からラップランドのELYセンターが資金を提供しました。